令和８年度　第２回　舞阪中学校 学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開 催 日 時　　令和８年７月２３日（木）　１３時３０分から１５時４０分まで
２　開 催 場 所　　舞阪中学校　１階　旧パソコン室・美術室
３　出 席 委 員　　鈴木 孝一、江間 雅尾、片桐 美恵子、佐々木 雄一、山下 利恵、片山　幸一
　　坂田 久実、竹中　務
４　欠 席 委 員　　なし
５　オブザーバー　堀内 実（舞阪支所）
６　学　　校　　松井 麻紀子（校長）、松下 宏幸（教頭）
７　傍　聴　者　　なし
８　会議録作成者　　ＣＳディレクター　田岡　忍
９　議長の選出
　議長は令和８年４月２８日（火）前回会議（第１回）の経緯より、佐々木委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
１０　協 議 事 項
　舞阪中学校の目指す生徒像や、舞阪地区の強みを生かした教育について
１１　会 議 記 録
　司会の松下教頭から、委員総数８人のうち８人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

　舞阪中学校の目指す生徒像や、舞阪地区の強みを生かした教育について
　議長の指示により、直前に行われた、教職員とのグループディスカッションでの感想や気づきについて意見を求められ、委員からの発言は、以下の通りであった。

・来年度から部活動を楽しみに入学する生徒がいる中で、保護者は部活動の地域展開をどう捉えているのか。部活動の選択肢は今のままで良いのか見直す必要があるのではないのか。（鈴木委員）
・小学校から中学校まで９年間一緒に学校生活を送る中で、様々なグループや人間関係ができてしまうことが、メリットでもありデメリットでもあると思う。（竹中委員）
・言われたことはすぐに行動できるが、先を考えて行動する力が足りない生徒が多い。（竹中委員）
・４月から実施している、昼休みの見守り隊は、先生方から良い声を聞けたので、継続していきたいと思う。（片桐委員）
・舞中防災の日に生徒がマッチを使えないことが分かって驚いた。今後、防災を通して様々な体験が出来るよう、考えていきたい。（片山委員）
・栄養教諭から、給食で魚の食べ方がとてもきれいと聞いて、舞阪の良いところは伸ばしてあげたいと思った。（坂田委員）
・大人が生徒に寄り添うには、固定概念をなくし、生徒とたくさんの接点（見守り隊など）を作っていく必要がある。（佐々木委員）

・中学校３年間において、生活面や学力など、出来上がることばかりではないので、良いことは小さなことでもコツコツと伸ばしていけたら良いと思う。（江間委員）
・地域のつながりが強いのは良いことだが、社会に出た時に、自分の意見を言えない生徒が多いことは改善していきたい。（片山委員）
・学校・地域・家庭のつながりをもっと強くしていきたい。（片山委員）
・部活動がなくなってしまうと、仲間づくりができにくくなってしまうのではないか。（山下委員）

その他連絡事項等
・片桐委員から、２学期へ向けて、家庭科ボランティアの呼びかけを行っていきたいと報告があった。
・片山委員から、２学期も見守り隊の継続、募集を行っていきたいと報告があった。
・田岡ＣＳディレクターから、次回の会議は、令和８年１１月２４日（火）１３時３０分から１階会議室で開催する旨の報告があった。
・第３回議長選出について、坂田委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。